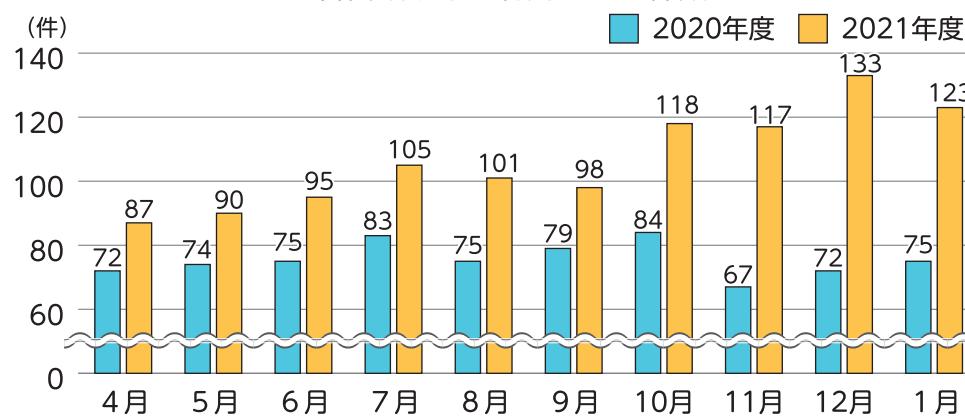




無料低額診療事業をひろめて

必要な方へ情報を届けよう

無料低額診療を利用された件数



今年度は、無低額診療事業をよりABC放送で、無低額診療事業をひろめます。そのため、無低額診療事業をひろめます。

医療費負担が重くのしかかる

国民皆保険制度と生活保護制度の狭間で、医療保障から漏れてしまう方を社会福祉法に基づき補

完する一つの手段として、無料低額診療事業（以下・無低額診療事業）があります。しかし、無低額診療事業を知らない方が多く、必要な方が利用できていない現状があります。その理由としては、実施医療機関が少ないことがあります。全

長引く新型コロナ感染症により、さらに家計が苦しく、経済的理由で医療機関への受診をためつている方が見受けられます。最後のセーフティネットとして「生活保護制度」がありますが、もともと条件が厳しく、利用に結びつかない方が多くおられます。

無料低額診療事業の普及と課題

ラジオ広告から見えてきた

を行っている歯科を紹介してほしい。（兵庫県明石市の方）

割負担になり、医療費が払えなくなった。無低額診療事業のことを教えてほしい。

それぞれの生活の中で、医療費負担が重くのしかかっている状況がよくわかりました。電話をいたいた方には、無低額診療事業を説明して、実施

送とMBS放送の2局で一日2回、一回20秒間のラジオ広告に取り組みました。その結果、2月15日までの2ヶ月間で大阪府下、他県から、38件の問い合わせがありました。

問い合わせの一部を紹介します。
問い合わせの一部を紹介します。
問い合わせの一部を紹介します。

で、医療機関を紹介しています。医療機関を紹介している

の会と共同し、医療相談会や街角健康チエック、健康講座、班会などで

のチラシの配布や説明会の開催などで広くお知らせすること、困っている

は無低額診療事業で治療できても、自宅に帰ると医療費負担が重くのしかかっています。

それに対応するため、国民健康保険法44条があり、加入者に特別な理由があつて医療機関に一部負担金（窓口で支払う医療費や薬代）を支払うことが困難な場合は、

は無低額診療事業で治療できるようになります。

に職員を教育することが大事だと考えています。

お近くに、医療費が払えなく受診できない方がいましたら、国籍を問わず、フリーダイヤル（0120-1667-133）を紹介してください。

4)を紹介してください。

無低額診療事業を知らせ声をかけよう

現在、同仁会では、月平均100人、のべ230人が無低額診療事業を利用して受診されており、月平均125万円を負担しています。

また、1990年代より、国の医薬分業政策で保険（調剤）薬局が増えましたが、法整備が追い

薬や在宅医療費への補助制度を

また、1990年代より、国の医薬分業政策で保険（調剤）薬局が増えましたが、法整備が追い

つかず、保険薬局が無低額診療事業の対象から除外されています。糖尿病や高血圧症などの慢性疾患では、合併症との関係で多くの薬が必要です。しかし

そのため、自治体や福祉団体などは、自治体や

そのためにも、長期間の服用が必要なので、医療費よりお薬代の負担が高くなる場合もあります。お薬だけでも

（同仁会本部）

（同仁会本部）